

副産物情勢

平成30年6月5日

更新

J/A全農ミートフーズ株式会社

項目	内容	備考																									
1.内臓	①国産牛	<p>○平成30年4月成牛と畜頭数は、90.0千頭(前年比101.5%)と前年をわずかに上回った。 内訳を見ると、和牛39.8千頭(前年比 104.1%)、交雑牛21.7千頭(同 103.8%)、乳牛去勢15.1千頭(同 94.8%)であった。 ○平成30年5月の成牛と畜頭数は、速報値(5/31まで集計)で81.2千頭(前年比101.2%)と微増となった。 ○(独)農畜産業振興機構が5月25日に公表した牛肉の需給予測によると、6月は各品種とも出荷頭数の減少が見込まれることから、生産量は前年同月をやや下回ると予測する。 3ヶ月平均(4~6月)では、出荷頭数、生産量はともに前年同期をわずかに下回ると予測している。 ○需要動向については、赤モノは依然不足気味である。焼肉需要到来により、レバー・ホホ肉の動きが良くなってきた。 シロモノは小腸・シマチョウとも動きが非常に悪く、市中在庫が多くなっている状況である。 テールの引き合い落ち込む。</p>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年5月26日</td> <td>34/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月6日</td> <td>30/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年11月19日</td> <td>30/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年6月9日</td> <td>30/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月6日</td> <td>40/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align:right">*豚正貫物</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg	平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg	平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg	平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg	平成28年6月6日	40/枝kg	9/枝kg			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg																								
平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg																									
平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg																									
平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg																									
平成28年6月6日	40/枝kg	9/枝kg																									
②国産豚	<p>○平成30年4月度全国の肉豚出荷頭数は1,365千頭(農林水産統計5/31公表 前年比103.9%)となった。農水省5月2日発表の月出荷予測では、1,347千頭(前年比102%)と予測されており、予測と前年をともに上回る結果となった。 ○平成30年5月の全国と畜頭数は、速報値で1,340千頭(5/31まで集計)、前年同比98.6%となっている。稼働日数では昨年より1日多い21日となり、1日当たりの平均と畜頭数は速報値段階で63,824頭となっている。 ○農水省食肉鶏卵課平成30年5月2日付 肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は平成30年6月1,298千頭(前年同月比99%)、7月1,260千頭(102%)、8月1,316千頭(100%)、9月1,285千頭(98%)、10月1,443千頭(101%)、11月1,484千頭(101%)となっている。 ○需要動向について、引き続きアカモノは全体的に堅調である。タン・ハラミは相変わらず好調である。レバーも加工仕向け等で堅調である。 シロモノは、小腸・大腸ともに夏場に向けての頭数不足不安のためか適正価格で、在庫余剰感はない。 ハツ・ガツともコンビニ・量販店需要・輸出量拡大等で堅調である。</p>	<p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年3月10日</td> <td>50/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成20年5月1日</td> <td>50/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成23年6月20日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月13日</td> <td>30/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成28年5月30日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>*H23.4.1から枝重500kg以上が510kg未満に改定</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg	平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg	平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg	平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg	平成28年5月30日	40/枝kg	5/枝kg				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg																									
平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg																									
平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg																									
平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg																									
平成28年5月30日	40/枝kg	5/枝kg																									
③輸入牛	<p>○平成30年4月の輸入通関実績によると牛肉輸入量は全体で62.1千ト(前年比120.8%、前月比138.8%)であった。 内訳は、チルドが25.1千ト(前年比110.0%、前月比112.4%)、フローズンは37.0千ト(同129.4%、同 165.1%)であった。 チルドは大型連休の需要期に向けて、米国が11.9千ト(前年比102.9%)、豪州が12.1千ト(同 115.1%)とともに増加となった。 ○(独)農畜産業振興機構が5月25日に公表した牛肉の需給予測によると、今後のチルドビーフ輸入量について、5月は主に豪州産の輸入量増加が見込まれることから前年同月を上回るものの、6月は米国産の輸入量の減少が見込まれることから前年同月をやや下回るとしている。 ○平成30年4月の冷凍輸入牛レバーは73.3ト(前年比132.3%・前月比49.1%)であった。国別では米国62.4t、豪州9.8t、墨国1.0tであった。 冷凍輸入牛腸は1,462.6ト(前年比110.3%・前月比125.8%)となった。</p>	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年2月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>140/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月3日</td> <td>1,000/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,000/枚</td> <td>200/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>170/枚</td> </tr> <tr> <td>平成28年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>150/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td>1,500/枚</td> <td>180/枚</td> </tr> <tr> <td>平成30年5月14日</td> <td>1,500/枚</td> <td>150/枚</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚	平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚	平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚	平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚	平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚	平成29年1月23日/16日	1,500/枚	180/枚	平成30年5月14日	1,500/枚	150/枚	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																									
平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚																									
平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚																									
平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚																									
平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚																									
平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚																									
平成29年1月23日/16日	1,500/枚	180/枚																									
平成30年5月14日	1,500/枚	150/枚																									
2.原皮	①牛原皮	<p>○平成30年4月の輸出実績は、33,252枚(前年比115.1%、前月比158.5%)で、前月・前年ともに上回った。輸出平均価格は4,217円/枚(前年比-1,127円、前月比-57円)とこちらは下回った。 国別実績は、韓国12,375枚(前年比142.7%)、タイ13,857枚(同89.8%)、香港3,420枚(同81.4%)、インド600枚(同100%)、ベトナム13,000枚(前年なし)、台湾は実績なし。一方、ウエットブルーの輸入は、51.6千枚(前年比93.7%、前月比75.4%)、牛大判皮は16.2千枚(前年比61.7%、前月比51.8%)となった。 ○米国等の牛生産頭数が増加し、それに合わせ原皮枚数も増加している。牛原皮の国際価格を押し下げているのが、下げの主な原因と思われる。 ○国内では靴の需要が大幅に減少しており、それにあわせて輸出量が増加傾向である。</p>	<p>4.大阪市場原皮価格 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和ヌキ)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年7月11日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>70/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月8日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>100/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月10日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>120/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月13日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>130/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td>1,800/枚</td> <td>140/枚</td> </tr> <tr> <td>平成30年5月28日</td> <td>1,800/枚</td> <td>110/枚</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚	平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚	平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚	平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚	平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚	平成29年1月23日/16日	1,800/枚	140/枚	平成30年5月28日	1,800/枚	110/枚
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																								
平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚																									
平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚																									
平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚																									
平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚																									
平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚																									
平成29年1月23日/16日	1,800/枚	140/枚																									
平成30年5月28日	1,800/枚	110/枚																									
②豚原皮	<p>○平成30年4月の輸出合計は、1,220,620枚(前年比106.6%、前月比104.6%)と、前月・前年ともに上回った。 輸出価格は611円/枚で前年比-226円、前月比-48円とこちらは下回った。 国別実績は、台湾262千枚(前年比107.3%)、タイ836千枚(同103.0%)、韓国53千枚(同107.5%)、ベトナム70千枚(前年比174%)、フィリピン・香港とも実績なしであった。 ○輸出動向については、輸出価格の下げが止まらない状況である。 国際的には、牛皮・羊皮価格とも下落傾向であり、海外には在庫も多く予断を許さない。 ○国内の豚原皮価格は5月より30円値下げとなった。</p>																										
3. レンダリング	①油脂等	<p>○5月渡しの国内産食用加工油脂向け豚脂は前月保合、前年からは+7円上げの95円(前年比108.0%)となり、牛脂は前月保合、前年からは-3円下げの90円(同96.8%)となった。豚脂は4月からの値上げに対して、精製ラードも5月から値上げに動く方向である。牛脂は、ファーストフード大手の業績改善と新規店舗開店が見込まれることなどの好材料も出てきている。 ○4月マレーシア産パーム油相場は、3月生産量が増加し、販売増により在庫は減ったが予想より多かったため、前月より+1円の91円であった。(前月比101.1%、前年比90.0%)。5月は生産量が例年伸びるので、相場は軟調となる見込み。 ○5月の関東飼料用油脂は74円/kgと前月と同様で、前年比+2円となった。工業用油脂は前月と同様の45円/kg、前年からは-2円。 ○5月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、前月・前年と同様の63円~66円/kg辺り。</p>	<p>5. 油脂価格(食用向け) 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年7月1日</td> <td>91</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成27年8月1日</td> <td>93</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月1日</td> <td>93</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>平成29年11月1日</td> <td>90</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>平成30年4月1日</td> <td>90</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	平成27年7月1日	91	93	平成27年8月1日	93	93	平成28年6月1日	93	88	平成29年11月1日	90	90	平成30年4月1日	90	95						
価格改定年月日	牛脂	豚脂																									
平成27年7月1日	91	93																									
平成27年8月1日	93	93																									
平成28年6月1日	93	88																									
平成29年11月1日	90	90																									
平成30年4月1日	90	95																									